

窒息・誤飲について

1 窒息について

窒息は、空気の通り道(気道)に物や液体がつまり、息がしづらくなる若しくは全くできなくなり、最悪の場合、死に至るとも恐ろしいものです。特に、高齢者に多くみられます。加齢にともなって、食べ物を飲み込む力が低下していくため、喉に詰まりやすくなります。詰まりやすい食べ物として、お餅、肉等が考えられます。

① 窒息の発見

まず、窒息に気がつくことです。親指と人差し指で、のどをつかむ仕草は、「窒息のサイン」と呼ばれています。



☆予防のポイント

- ・食べ物を細かく切るなど、飲み込みやすくする工夫をしましょう。
- ・ロー杯ほおぼると、飲み込むのに力があるため、慌てずゆっくりよく噛んで食べましょう。



2 誤飲について

小児に多く発生しています。硬貨、瓶のふた、ボタン、ボタン型電池、おもちゃ等、小児は手に取ったものを何でも口に入れてしまいます。窒息を起こす可能性もありますし、電池などは消化管損傷を引き起こすため、緊急に摘出が必要となってしまいます。



☆予防のポイント

お子さんの手の届く場所に口に入る大きさの物を置かないことが重要です。床や机の上を整理整頓しましょう。

